

第 21 回（2025 年）全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 審査講評 ＜各賞の講評＞

ビギナーデザイン部門、一般部門にもハンズオフ飛行（自律制御飛行）のミッションが導入され、飛行ロボットの設計・開発が今後増えることを期待させる大会でした。参加者ならびに大会関係者のご努力に敬意を表します。

ユニークデザイン部門

ハマ賞：Reincarnation （東京農工大学）

主翼を円筒状にして回転させ、マグヌス効果を利用し揚力を得ている機体であり、一般部門にも出場できそうな非常に安定した飛行や宙返りを実現した点を評価した。今後の更なる性能向上を期待したい。

ユニークマルチコプター賞

OBK 賞：XMQ-1 （東京農工大学）

大直径のメインローターと小直径のローターを組み合わせて飛行させるマルチコプターであり、安定した飛行を披露した点を評価した。メインローターをうまく活用する等、本技術を応用した発展を期待したい。

ベストデザイン賞

ボーイング・ジャパン賞：ふらっぴんぐ・たん （東北大学）

ユニークデザイン部門に出場した機体であるが、6枚の翼を制御して、通常の飛行や羽ばたき飛行が安定して実現できた点を評価した。それぞれの翼を調整して飛行できるようなので、更に研究・開発を進めることで様々な応用が期待できる技術である。

エアバス・ジャパン賞：そらかぜ （名古屋大学）

大きな上反角をもつ高アスペクト比主翼を採用した機体であり、非常に空力性能が高く安定した飛行を実現した機体である。無動力滑空のミッションにおいて、約 20 秒の滑空飛行を披露した点を評価した。

ベストパイロット賞

ANA 賞：Naval （東京農工大学）

高い機動性を持つ機体であり、自動水平旋回を成功させるなど、優れた飛行性能を示した。また、投下救援物資回収や高所物資回収を巧みに成功させた点を評価した。

JUTM 賞：偏り丸（名古屋大学）

一般部門に左右非対称な機体として出場し、操縦アシスト機能を実装することで、操縦しにくい機体が安定に飛行できることを示した。更に、宙返りや自動 8 の字飛行を披露した点を評価した。

ベストクラフト賞

本田技術研究所賞：絡繹-KIT（秋田工業高等専門学校）

今回の大会で数少ないバルサ材を利用し、丁寧に製作された機体である。ユニークデザイン部門において、垂直離着陸が可能であり、飛行中に平面翼が展開して複葉機に変形しても安定した飛行が可能であることを実証した点を評価した。

SUBARU 賞：εi3（バタフライエフェクト）（東北大学）

主翼の前方下面に M 字形状の前翼を持つ特徴的な機体であり、高い機動性と高い縦安定性を実現した機体を設計・製作した点を評価した。

ベストプレゼンテーション賞

日本タタ・コンサルタンシー・サービス賞：BulbousBow（千葉工業大学）

機体の特徴やチームの意気込み・苦労が一目で分かるように製作されたポスターである点を評価した。

宇推くりあ賞：フカヒレ（都立産業高専）

製作した飛行船型の機体の飛行の様子が想像できるようなポスターである点を評価した。次回は実機の飛行性能を向上させて、安定した飛行を披露することを期待します。